



毎年、元旦祭が行われる愛鷹明神宮



第47回  
自然の魅力満載  
愛鷹山

富士山の南に広がる愛鷹連峰は、9つの山々から成り、連峰の南端に位置する愛鷹山は市内で最も高い標高1188mを誇ります。多様な生物相を観察できることから、市内外の登山者に人気のスポットです。

愛鷹山の南麓には江原素六翁の功績により払い下げが行われた茶畑が広がり、今年度皇室への献上が予定されている沼津茶が栽培されているほか、赤野観音堂や興国寺城跡などの歴史的遺産も数多く残ります。また、春には桜並木が満開となる愛鷹広域公園や、新たな活用が予定される少年自然の家など市民の憩いの場も多く存在します。

今後は、スマートICが開通した東名愛鷹パーキングエリアの北側で、住宅や農園、ファーマーズマーケットなどが一体となったまち「愛鷹ファームヒレッジ」の開発が予定されるなど、その魅力が高まっています。



- 1 満開の桜が咲く愛鷹広域公園には、多くの花見客が訪れます
- 2 市指定有形文化財に指定されている赤野観音堂
- 3 4～5月には黄緑色のきれいな茶畑を見ることができます



2



1

**愛鷹山の77サ**  
初夢に見ると縁起がよいとされる「一富士・二鷹・三茄子」の鷹は、実は、愛鷹山を指すのではという説もあります。

出典：沼津市観光総合パンフレット



3

愛鷹山の登山ルートなどの詳細は、市ホームページをご覧ください。 [広報めまづ](#) [検索](#)